

「塩害環境の定量評価に関する研究小委員会」成果報告会開催のご案内

開催日：2018年12月21日 [金]

報告会参加申込締切：2018年12月7日 [金]

行事コード・略称：22811・348 委員会報告会

コンクリート委員会「塩害環境の定量評価に関する研究小委員会第2期（348委員会，委員長：佐伯竜彦 新潟大学教授）」では，塩害環境評価の現状と課題を調査し，塩害環境評価のあるべき姿を提案した1期目に引き続き，提案したあるべき姿の実現のための基盤作りを目的とした活動を行いました．具体的には，個別の構造物や構造物の部位毎の環境の違いを対象とした塩害環境評価について調査・研究を行い，塩害環境評価手法とそれを利用した耐久性設計のベースについてとりまとめました．この度，本委員会の成果報告会および本委員会の活動に関連した最新の研究成果を報告するシンポジウムを開催することになりましたので，奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます．

●成果報告会およびシンポジウムについて

- (1) 主催：土木学会（担当：コンクリート委員会 348委員会）
- (2) 日時：2018年12月21日（金）13：30～17：30
- (3) 場所：土木学会 講堂（東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内）
- (4) 定員：100名（申込先着順）
- (5) 内容：委員会の成果報告およびシンポジウム
- (6) 参加費：会員 5,000円，非会員 7,000円，学生 3,000円
（テキスト資料代を含む．資料はUSBメモリで配布予定．）
- (7) 参加申込方法：土木学会ホームページ <http://www.jsce.or.jp/event/index.html> から，お申し込みください．または，学会誌綴込みの「本部行事参加申込書」に所定事項（特に行事コード番号）を明記のうえ，研究事業課宛へFAXにてご送信ください．申込書到着から約10日後に，折り返し「参加券」をお送りいたします．

*申込に関してお願い

- ①申込締切日前に定員に達している場合がございますので予めご了承ください．なお，締切日以降の事前受付はいたしません．但し，定員に余裕がある場合のみ，行事当日に会場にて受付いたします．
- ②お申込み後，やむを得ずキャンセルされる場合は，必ず開催日の1週間前までに研究事業課宛へご連絡ください．ご連絡がない場合は，参加費を徴収させていただきますので予めご了承ください．
- ③申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします．

- (8) 参加申込締切日：2018年12月7日(金)
- (9) 参加問合せ先：公益社団法人土木学会コンクリート委員会（事務局担当：小川）
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目
TEL 03-3355-3559/FAX 03-5379-0125
- (10) プログラム：下記をご参照ください。

●成果報告会およびシンポジウム プログラム

- 13:30-13:40 開会挨拶と活動概要 348 委員会委員長 佐伯竜彦（新潟大学）
- 13:40-15:10 委員会活動報告
- | | |
|---------|--------------|
| 規準 WG | 上原子晶久（弘前大学） |
| 設計 WG | 皆川 浩（東北大学） |
| 共通試験 WG | 佐伯竜彦（新潟大学） |
| シナリオ WG | 加藤佳孝（東京理科大学） |
- 15:10-15:20 休憩
- 15:20-17:00 シンポジウム
- 薄板モルタル供試体を用いた橋梁各部位の塩害環境評価
- 佐伯竜彦（新潟大学），富山 潤（琉球大学），山下将一（新潟大学）
- 橋梁上部工の壁高欄に作用する凍結防止剤由来の塩化物イオン量の評価
- 皆川 浩（東北大学），羽柴俊明（(株)ネクスコ・エンジニアリング東北），早坂洋平（東北大学），鈴木貴洋（東日本高速道路(株)），曾田信雄（(株)ネクスコ・エンジニアリング東北）
- 飛来塩分に影響を与える環境作用の定量評価技術
- 中村文則（長岡技術科学大学），大原涼平（長野高専），滝 晴信（長岡技術科学大学），下村 匠（長岡技術科学大学）
- 火力発電所の飛来塩分輸送状況予測に関する基礎検討
- 崎原康平（琉球大学），石川嘉崇（電源開発），山田義智（琉球大学）
- 塩害環境評価の精度が栈橋上部工のライフサイクルコストに及ぼす影響
- 宮沢明良（東亜建設工業）・川島仁（東亜建設工業）・羽瀧貴士（東亜建設工業）
- 17:00-17:00 閉会挨拶 富山 潤（琉球大学）

（プログラムは変更されることがあります。）